

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	国語		学年	第1学年
時間数	105	教科書	現代の国語1（三省堂）・新しい書写 一・二・三年（東京書籍）	
副教材	よくわかる国語の学習1（明治図書出版） 基礎をきずく 国語 1年（浜島書店）			

学習目標	小学校での学習内容を踏まえて、日常生活で生きて働く国語力を身に付けます。 多様な言語活動を通して、分かりやすく伝えたり、情報を正確に読み取ったり、論理的に考えたりする力を身に付けます。また、異なる考えを持つ他者と協働して読みを深め合い、視野を広げます。 現代と古典をつなぐ学習を通して、伝統的な言語文化に親しみます。 漢字の学習をはじめとする言語に関する学習を行い、確かな言葉の力を身に付けます。
学習方法	教科書、副教材、プリントを活用して学習を進めていきます。 音読を通して、基礎的な語彙力を身に付けることを勧めます。古典的な作品の学習に限らず、現代の作品の学習においても、音読を繰り返すことによって、漢字や語句の意味、言葉の使い方を文章の中で覚えていく習慣を身に付けましょう。 中学生として「話す」「聞く」「書く」「読む」ための基礎的な力を身に付けましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト、提出物等 【思考・判断・表現】定期テスト、授業時の活動、提出物等 【主体的に学習に取り組む姿勢】授業時の活動、提出物等

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	豊かに想像する わかりやすく伝える ものの見方・感性を養う 言語事項	詩や物語を音読し、自分の考えを伝え合います。 説明的文章を読んで、文章の展開や表現の工夫について学習します。 物語や随想的文章を読んで、登場人物の心情を読み取り、自分の考えと照らし合わせます。 言葉の単位・文節の関係・書写について学習します。
2学期	論理的に考える 情報を関連づける 古典に学ぶ 言語事項	図表と文章との関係に注意して読み、論理的思考力や、情報を整理して相手に伝える方法を学習します。 「竹取物語」「矛盾」を音読し、古典の世界に親しみます。また、故事成語について学習します。 漢字の部首と成り立ち・音と訓・書写について学習します。
3学期	読みを深め合う 視野を広げる 振り返って見つめる 言語事項	物語を読んで、共感するところや疑問に思うことを話し合い、考えを深めます。 説明的文章を読んで、地球や人間に対する筆者の考え方を読み取り、視野を広げます。 物語を読んで、情景や行動の描写に表現されている視点人物の心情の変化を捉えます。 単語の種別・品詞・書写について学習します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	国語			学年	第2学年
時間数	140	教科書	現代の国語2（三省堂）・新しい書写 一・二・三年（東京書籍）		
副教材	よくわかる国語の学習2（明治図書出版） 単元プリント 基礎をきずく 国語 2年（浜島書店）				

学習目標	1年次の学習内容を踏まえて、日常生活で使える国語力を養います。 古文や漢詩に表れたものの見方や考え方に触れ、音読を通して古典を楽しむ姿勢を身に付けます。文学的文章や説明的文章の学習を通じて、社会生活に関わることについて考えを広げます。様々な文章に触れることにより、的確に読み解く力や自分の考えを的確に書く力、述べる力を養います。漢字をはじめとする言語に関する学習を継続的に行い、実践的な言葉の力を高めます。
学習の方法	教科書、副教材、ワークシート、ロイロノートを活用して学習を進めていきます。 漢字や語句の意味、歴史的仮名遣いなどを個別に暗記するのではなく、本文の音読を繰り返して、文章の中で覚えていくことが大切です。積極的に音読に取り組みましょう。グループでの話し合いや発表を通して、それぞれの考えを尊重しながら課題を解決する活動を行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト、提出物等 【思考・判断・表現】定期テスト、授業時の活動、提出物等 【主体的に学習に取り組む姿勢】授業時の活動、提出物等

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	豊かに想像する わかりやすく伝える ものの見方・感性を養う 言語事項	詩に込められた思いや人と人との心の交流を捉えます。 文章の構成に着目して筆者の意見を読み取ります。 短歌に込められた情景や心情を味わいます。 用言の種類やその活用、書写を学習します。
2学期	論理的に考える 古典に学ぶ 情報を関連づける 読みを深め合う 言語事項	文章と図表とを結びつけて筆者の思いを捉えます。 音読を通して古典の世界を楽しみます。 表現の工夫に注意して、筆者の主張を読み取ります。 詩に描かれた情景や、小説の登場人物の心情を捉えます。 助詞・助動詞の種類や働き、書写を学習します。
3学期	視野を広げる 振り返って見つめる 言語事項	構成に注目し、取材した筆者の思いを捉えます。 登場人物の言動の意味を考え、心情を捉えます。 助詞・助動詞の種類や働き、書写を学習します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	国語			学年	第3学年
時間数	105	教科書	現代の国語3（三省堂）		
副教材	よくわかる国語の学習3（明治図書出版） 単元プリント 基礎をきずく 国語 3年（三省堂） 読み方レスキュー グレードⅢ（正進社）				

学習目標	1・2年次の学習内容を踏まえて、日常生活における国語力を高めます。 古文や漢文におけるものの見方や考え方に触れ、音読を通して古典に親しむ姿勢を身に付けます。様々な文章に触れることにより、分かりやすく伝えたり、正確に読み取ったり、論理的に考えたりする力を養います。漢字をはじめとする言語に関する学習を継続的に行い、実践的な言葉の力を高めます。
学習の方法	教科書、副教材、ワークシートを活用して学習を進めていきます。 漢字や語句の意味、歴史的仮名遣いなどを個別に暗記するのではなく、本文の音読を繰り返し、文章の中で覚えていくことが大切ですから、積極的に音読に取り組みましょう。 グループでの話し合いや発表を通して、それぞれの考えを尊重しながら課題を解決する活動を行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト、提出物等 【思考・判断・表現】定期テスト、授業時の活動、提出物等 【主体的に学習に取り組む姿勢】授業時の活動、提出物等

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	豊かに想像する わかりやすく伝える 言語事項 ものの見方・感性を養う	語句や描写について感じたことや考えたことを深めます。 漢字や語句について学習し、語彙を増やします。 人物の心情を読み取り、自分の考えと照らし合わせます。 筆者の主張と具体例との関係を考えます。
2 学期	論理的に考える 古典に学ぶ 情報を関係づける 言語事項	表現の工夫に注意して、筆者の考え方を読み取ります。 音読を通して、古典の世界に親しみます。 文章の構成や表現の仕方について読み取り、評価します。 慣用表現について知り、日常生活における言葉の効果的な使い方について学習します。
3 学期	読みを深め合う 振り返って見つめる 言語事項	語句や描写について感じたことや考えたことを深めます。 描写に注意し、人物の心の動きの変化を捉えます。 相手や場によって言葉遣いの変化することを学びます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	社会			学年	第1学年
時間数	105	教科書	新しい社会歴史（東京書籍）・新しい社会地理（東京書籍）・中学校社会科地図（帝国書院）		
副教材	ニューススタイルビジュアル地理 世界・日本ⅠⅡ（とうほう）				

学習目標	（歴史的分野） 日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて学びます。歴史の学習を通じて、歴史への関心を高めるとともに、国や社会の向上に尽くした歴史上の人物や、日本の歴史や文化に深く関わっている諸外国の歴史や文化を尊重する態度を養います。また、様々な資料を活用して、歴史上の出来事などを多面的・多角的に考察し、表現する能力や態度を養います。
	（地理的分野） 広い視野に立って日本や世界の諸地域の特色を学びます。地理の学習を通じて、日本の国土や世界の諸地域への関心を高めるとともに、地理的認識を養います。人間の営みと関連付けて地域的特色や地域の課題を捉え、それが諸条件の変化などに伴って変容していることを理解します。また、様々な資料を活用して、地理的事象を多面的・多角的に考察し、表現する能力や態度を養います。
	学習の方法 授業を中心に、教科書・資料集・地図帳を活用して学習内容を整理し、理解していきます。授業では、地理と歴史を交互に学習していきます。 年4回の定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるかを確認します。 長期休業中に出される課題や、課題の確認テストなどで学習内容の復習を繰り返し行います。
	評価の仕方 観点別評価基準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】課題の取組、授業中の発言・行動観察

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	（地理的分野） 第1編 第1章 世界のすがた 第2章 世界各地の人々の生活と環境 第3章 世界の諸地域	地球儀や世界地図を活用し、世界の地域構成を学習します。 世界各地における人々の生活の様子とその変化について学習します。 世界の諸地域について、人々の生活の様子から、地域的特色を学習します。
	第4章 世界のさまざまな地域の調査 （歴史的分野） 第1章 原始と古代の日本 第2章 中世の日本	世界の様々な地域又は国の調査を行う際の視点や方法を学習します。 東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成され、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられて、天皇や貴族の政治が展開したことを学習します。 武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まったことを学習します。武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを学習します。
	3 学期 第3章 近世の日本	近世社会の基礎が作られていったことを学習します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	社会			学年	第2学年
時間数	105	教科書	新しい社会歴史（東京書籍）・新しい社会地理（東京書籍）・中学校社会科地図（帝国書院）		
副教材	ニューススタイルビジュアル地理ⅠⅡ（とうほう）				

学習目標	（歴史的分野） 日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて学びます。歴史の学習を通じて、歴史への関心を高めるとともに、国や社会の向上に尽くした歴史上の人物や、日本の歴史や文化に深く関わっている諸外国の歴史や文化を尊重する態度を養います。また、様々な資料を活用して、歴史上の出来事などを多面的・多角的に考察し、表現する能力や態度を養います。
	（地理的分野） 広い視野に立って日本や世界の諸地域の特色を学びます。地理の学習を通じて、日本の国土や世界の諸地域への関心を高めるとともに、地理的認識を養います。人間の営みと関連付けて地域的特色や地域の課題を捉え、それが諸条件の変化などに伴って変容していることを理解します。また、様々な資料を活用して、地理的事象を多面的・多角的に考察し、表現する能力や態度を養います。
	授業を中心に、教科書、資料集、地図帳を活用して学習内容を整理し、理解していきます。授業では、地理と歴史を交互に学習していきます。 定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるか確認します。長期休業等で出される課題や、課題の確認テストで、学習内容の復習を繰り返し行います。
	観点別評価基準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】課題の取組、授業中の発言・行動観察

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	（歴史的分野）第3章 第1節 ヨーロッパとの出会い 第2節 信長・秀吉の全国統一 （地理的分野） 第1章 日本のすがた 第2章 世界から見た日本のすがた	ヨーロッパの大航海時代と宗教改革について学習した後で、日本の戦国時代から安土桃山時代について学習します。 世界から見た日本の特色について、様々な分野（自然環境、人口、資源・エネルギー、農林水産業、工業、商業など）を学習します。
2学期	（歴史的分野）第3章 第3節 江戸幕府の政治 第4節 産業・交通の発達 第5節 幕府政治の改革 （地理的分野） 第3章 日本の諸地域	江戸時代の政治や経済・文化等について学習します。 日本の各地方の特色ある事象を例に、各地方の地域的特色について学習します。
3学期	（地理的分野） 第4章 身近な地域の調査 （歴史的分野）第4章 第1節 欧米諸国の進出と幕末 第2節 明治・日本の国づくり 第3節 立憲国家日本	地域調査の行い方やレポートの書き方、地形図の活用方法について学習します。 江戸幕府が滅び、明治政府が行った様々な政治改革や憲法制定までの動きについて学習します。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	社会			学年	第3学年
時間数	140	教科書	新しい社会 歴史（東京書籍）・中学社会公民分野（日本文教出版）		
副教材					

学習目標	（歴史的分野） 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて学びます。我が国の歴史への関心を高めるとともに、社会の向上に尽くした人物や、我が国の歴史に深く関わっている諸外国の歴史や文化を尊重する態度を養います。また、様々な資料を活用し、歴史的事象を多面的・多角的に考察し、表現する能力を養います。
	（公民的分野） 個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識し、民主主義に関する理解を深めるとともに、公民として必要な基礎的教養を培います。現代の社会的な事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに適切に表現する能力を育てます。
	学習の方法 授業を中心に、教科書、資料集、地図帳を活用して学習内容を整理し、理解していきます。定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるか確認します。 長期休業等で出される課題や、課題の確認テストで、学習内容を復習し定着を図ります。
評価の仕方	観点別評価基準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】課題の取組、授業中の発言・行動観察

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	（歴史的分野） 第5章 開国と近代日本の歩み 第1節 欧米における近代化の進展 第2節 欧米の進出と日本の開国 第3節 明治維新 第4節 日清戦争・日露戦争と近代産業 第6章 二度の世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と日本 第2節 大正デモクラシーの時代 第3節 世界恐慌と日本の中国侵略 第4節 第二次世界大戦と日本 第7章 現代の日本と私たち 第1節 戦後日本の出発 第2節 冷戦と日本の発展 第3節 新たな時代の日本と世界	欧米諸国が経験した二つの革命とそれにより誕生した近代国民国家の内容と欧米諸国と遭遇した日本を含めたアジア諸国の衝撃について学習します。 二つの世界大戦前後の時代背景や関係国と日本の動き、大戦がもたらした社会への影響について学習します。 第二次世界大戦が終わり、敗戦国である日本が占領政策を経て民主化・再建していく過程を学習します。
	（公民的分野） 第1章 私たちの生活と現代社会 第2章 私たちの生活と政治 －日本国憲法の基本原則－	現代社会の特徴と、私たちとの関わりについて学習します。 日本国憲法の基本原則である国民主権・平和主義・基本的人権の尊重について学習します。
	第3章 私たちの生活と政治 －民主政治と政治参加－ 第4章 私たちの生活と経済 第5章 私たちと国際社会の課題	我が国の選挙の仕組みや三権分立、地方政治の仕組みについて学習します。 私たちの消費活動や企業の活動、市場経済や金融の仕組みについて学習した後に、政府の財政政策や社会保障制度について学習します。 現在の国際社会の仕組みについて学習した後に、地球規模での諸問題について学習します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	数学			学年	第 1 学年
時間数	126	教科書	未来へひろがる数学 1（啓林館）		
副教材	未来へひろがる数学問題集 1（啓林館）				

学習目標	小学校で学んだ内容を基本として、中学数学を学ぶ上で必要な知識を身に付け、技能を高めます。また、数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道立てて説明する力を身に付けます。さらに、自分の解答をみんなに説明できる力を身に付け、コミュニケーションを通じて学習活動を深めていくことも目標としています。
学習の仕方	教科書を中心に進められる授業の内容を確実に理解しましょう。教科書の練習問題や演習プリントを解くことで、日々の授業の復習を重ねることが大切です。 分からない問題をそのままにしておくのではなく、先生や友達に質問してみましょう。また、数学問題集を解くことで応用力を身に付け、力を伸ばしていきましょう。定期考査でこれまでの授業内容の整理をし、定着を図ることが重要です。
評価の仕方	観点別評価基準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	1章 正の数・負の数	0を基準としたプラス、マイナスの意味を理解し、それを用いて正負の数の四則計算を学習します。また、絶対値や集合などの概念を学びます。
	2章 文字の式	数量を文字で表すことや文字式の表し方を知り、文字を含んだ四則計算を学習します。また、数量関係を式で表すことを学びます。
2学期	3章 方程式	1次方程式の意味や解法を理解するとともに、実際の問題解決の場面で1次方程式を活用することを学習します。
	4章 変化と対応	比例、反比例などの関数の意味や概念を理解するとともに、その活用方法を学習します。
	5章 平面図形	直線と角、図形の移動や作図の基本を学習します。また、円やおうぎ形の性質を学習します。
	6章 空間図形	平面図形の学習を通して得た知識や技術を生かして、いろいろな立体について学習します。また、立体の体積や表面積、球についても学習します。
3学期	7章 データの活用	ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解するとともに、それらを用いたデータ整理の方法を学習します。確率の必要性や意味を理解するとともに、生活や学習の中での活用方法を学習します。

備考	授業は、T・T（ティーム・ティーチング）の形式で行います。
----	-------------------------------

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	数学			学年	第1学年
時間数	14	教科書	未来へひろがる数学2（啓林館）		
副教材	未来へひろがる数学問題集2（啓林館）				

学習目標	1年次に学んだ内容と関連付けながら、2年次に向けて新たな知識を身に付け、技能を更に高めます。また、数学的な見方、考え方を高めることによって、物事の構成を捉え、問題を考察し、解決する力を身に付けます。さらに、自分の考えを自分の言葉で伝える力を身に付け、他の人の考え方を知ることによって、学習内容を深めていくことも目標としています。
学習の方法	教科書を中心に進められる授業の内容を確実に理解しましょう。教科書の練習問題や演習プリントを解くことで、日々の授業の復習を重ねることが大切です。 分からない問題をそのままにしておくのではなく、先生や友達に質問してみましょう。また、問題演習を通して応用力を身に付け、力を伸ばしていきましょう。
評価の仕方	観点別評価基準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
3 学 期	6章 場合の数と確率	確率の必要性和意味を理解するとともに、不確定な事象を捉え説明することを学習します。
	7章 箱ひげ図とデータの活用	箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を理解するとともに、データの分布の傾向を比較して読み取り、問題解決することを学習します。
備考	授業は、T・T（ティーム・ティーチング）の形式で行います。	

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	数学			学年	第2学年
時間数	69	教科書	未来へひろがる数学2（啓林館）		
副教材	未来へひろがる数学問題集2（啓林館）				

学習目標	1年生で学習した内容を基本として、関数や図形の性質などを見だし、発展させる力を養います。また、数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし、筋道を立てて証明する力を身に付けます。さらに、自分の解答を全員に説明できる力を身に付け、コミュニケーションを通して学習活動を深化させていくことも目標としています。
学習の方法	教科書を中心に進められる授業の内容を確実に理解しましょう。 教科書の練習問題や問題集を解くことで、日々の授業の復習を積み重ねることが大切です。分からない問題をそのままにしておくのではなく、先生や友達に質問してみましょう。また、問題集のB問題やC問題を解くことで応用力を身に付け、力を伸ばしていきましょう。定期考査でこれまでの授業内容を整理し、定着を図ることが重要です。
評価の仕方	観点別評価基準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学 期	1章 式の計算	いくつかの文字を含んだ四則計算や簡単な等式の変形の仕方、文字を用いた式で数量の関係を捉え説明することを学習します。
	2章 連立方程式	連立方程式の解法を理解するとともに、実際の問題解決の場面で連立方程式を活用することを学習します。
	3章 一次関数	一次関数の特徴を理解し、直線の式を求めたり、グラフを描いたりするとともに、一次関数のグラフと連立方程式の解との関係を学習します。
2 学 期	4章 図形の調べ方	対頂角の性質や平行線と角の関係について調べるとともに、証明することの意義としくみ、三角形の合同条件を根拠にした証明の進め方について学習します。
	5章 図形の性質と証明	直角三角形の合同条件を根拠にした証明や、平行四辺形、長方形等の様々な図形の性質について学習します。

備考	授業は、T・T（ティーム・ティーチング）の形式で行います。
----	-------------------------------

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	数学			学年	第2学年
時間数	36	教科書	未来へひろがる数学3（啓林館）		
副教材	未来へひろがる数学問題集3（啓林館）				

学習目標	1、2年生で学習した内容を基本として、3年次に向けて発展させる力を養います。また、数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし、筋道を立てて証明する力を身に付けます。さらに、自分の解答を全員に説明できる力を身に付け、コミュニケーションを通して学習活動を深化させていくことも目標としています。
学習方法	教科書を中心に進められる授業の内容を確実に理解しましょう。 教科書の練習問題や問題集を解くことで、日々の授業の復習を積み重ねることが大切です。分からない問題をそのままにしておくのではなく先生や友達に質問してみましょう。また、問題集のB問題やC問題を解くことで応用力を身に付け、力を伸ばしていきましょう。定期考査でこれまでの授業内容を整理し、定着を図ることが重要です。
評価の仕方	観点別評価基準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
3 学 期	1章 式の展開と因数分解	文字を用いた簡単な多項式について、式の計算や因数分解ができるようにするとともに、目的に応じて式を変形することを学習します。
	2章 平方根	数の平方根について理解し、数の概念の理解を一層深めるとともに、数を用いて物事を広く、深く考察・処理できるように学習します。

備考	授業は、T・T（ティーム・ティーチング）の形式で行います。
----	-------------------------------

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	数学			学年	第3学年
時間数	105	教科書	未来へひろがる数学3（啓林館）		
副教材	未来へひろがる数学問題集3（啓林館）				

学習目標	1・2年生で学習した内容を基本として、関数や図形の性質などを見いだし、発展させる力を養います。また、数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし、筋道を立てて証明する力を身に付けます。さらに、自分の解答を全員に説明できる力を身に付け、コミュニケーションを通して学習活動を深化させていくことも目標としています。
学習の方法	教科書を中心に進められる授業の内容を確実に理解しましょう。 教科書の練習問題や問題集を解くことで、日々の授業の復習を積み重ねることが大切です。分からない問題をそのままにしておくのではなく、先生や級友に質問をしてみましょう。また、問題集のB問題やC問題を解くことで応用力を身に付け、力を伸ばしていきましょう。定期考査でこれまでの授業内容を整理し、定着を図ることが重要です。
評価の仕方	観点別評価基準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	1章 式の展開と因数分解	文字を用いた簡単な多項式について、式の計算や因数分解ができるようにするとともに、目的に応じて式を変形することを学習します。
	2章 平方根	平方根の定義を理解し、その四則計算や分母の有理化などの計算方法を学習します。
	3章 二次方程式	二次方程式を、平方根や因数分解を利用して解くことを学習し、日常生活における問題を、二次方程式を用いて解決します。
2学期	4章 関数 $y=ax^2$	関数 $y=ax^2$ の特徴を理解し、放物線の式を求めたりグラフを描いたりするとともに、身の周りにある関数について調べ、その利用法を学習します。
	5章 図形と相似	図形の相似について理解し、三角形の相似条件を根拠とした証明を学びます。また、平行線における様々な性質を理解し、それらを用いた比の計算を学習します。
	6章 円の性質	円周角や中心角などの語句や性質を知り、円周角の定理を学習します。
	7章 三平方の定理	直角三角形において成り立つ三平方の定理を理解し、座標平面や空間図形に応用できることも学習します。

備考	2組・3組・4組の授業は、習熟度別講座（発展講座・充実講座）で行います。
----	--------------------------------------

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅰ	学年	第3学年
時間数	35	教科書	改訂版 新編	数学Ⅰ（数研出版）	
副教材	教科書傍用 クリアー数学Ⅰ＋A（数研出版）				

学習目標	数と式について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確かつ正確に活用する能力、態度を育成します。また、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題に取り組むことで技能を定着させます。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の復習に取り組むことで学習内容を確実に定着させます。
評価の仕方	観点別評価基準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
3学期	第1章 数と式	数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにします。また、式を多面的に見たり処理したりするとともに、一次不等式を事象の考察に活用できるように学習します。

備考	2組・3組・4組の授業は、習熟度別講座（発展講座・充実講座）で行います。
----	--------------------------------------

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	理科			学年	第1学年
時間数	105	教科書	新編 新しい科学 1（東京書籍）		
副教材	理科の完全学習1年（正進社） 確認から発展へ 理科1年（領域別シート付）（学宝社）				

学習目標	植物の世界、身のまわりの物質、身のまわりの現象、大地の変化に関する事物・事象について学習します。日常生活と関連付けることで、これらの事物・事象への興味・関心を高め、観察・実験を通して科学的な見方や考え方を身に付けます。
学習の方法	教科書を中心に、授業を進めていきます。 実験・観察を通して、実験・観察の技能、結果のまとめ方なども学びます。 定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるか確認します。 長期休業等で出される課題や課題の確認テストで、学習内容の復習を繰り返し行います。
評価の仕方	観点別評価基準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、単元別テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材（理科の完全学習）、課題、発表

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	単元1 植物の世界 第1章 花のつくりとはたらき 第2章 葉、茎、根のつくりとはたらき 第3章 植物の分類	植物の観察、実験を通して、植物のからだのつくりとはたらきを学習します。さらに、様々な植物を比較し得られた情報を整理することから、植物の生活と種類について理解を深めます。
2 学期	単元2 身のまわりの物質 第1章 身のまわりの物質とその性質 第2章 気体の性質 第3章 水溶液の性質 第4章 物質の姿と状態変化 単元3 身のまわりの現象 第1章 光の世界 第2章 音の世界 第3章 いろいろな力の世界	身のまわりの物質について観察・実験を行います。また、固体や液体・気体の性質、物質の状態変化について日常生活と関連付けて理解し、物質に対する見方や考え方を学びます。 観察・実験を通して、光や音の規則性や力の性質について理解します。これらの事物・現象を日常生活や社会と関連付けて科学的に見る見方や考え方を学びます。
3 学期	単元4 大地の変化 第1章 火をふく大地 第2章 動き続ける大地 第3章 大地の変化を読みとる	大地で起こる様々な事物・現象を、身近な地形、地層、岩石などの観察、地震の観測記録などの分析を通じて、それらのしくみと大地の変化とを関連付けて考える科学的な見方や考え方を学びます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	理科			学年	第2学年
時間数	140	教科書	新編 新しい科学 2（東京書籍）		
副教材	理科の完全学習2年（正進社） 確認から発展へ 理科2年（領域別シート付）（学宝社）				

学習目標	「化学変化と原子・分子」「生物のからだのつくりとはたらき」「天気とその変化」「電気の世界」の四つのテーマに沿って学習します。また、日常生活と関連付けることで、これらの事物・事象への興味・関心を高め、観察・実験を通して科学的な見方や考え方を身に付けます。さらに、問題演習や確認テストを通して、基礎学力の定着を図ります。
------	--

学習の方法	教科書を中心に、授業を進めていきます。 実験・観察を通して、実験・観察の技能、結果のまとめ方なども学びます。 定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるかを確認します。 長期休業等の課題や、課題の確認テストで、学習内容の復習を繰り返し行います。
-------	--

評価の仕方	観点別評価基準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、単元別テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材（理科の完全学習）、課題、発表
-------	---

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	単元1 化学変化と原子・分子 第1章 物質のなり立ち 第2章 物質どうしの化学変化 第3章 酸素がかかわる化学変化 第4章 化学変化と物質の質量 第5章 化学変化とその利用	物質を分解する実験を通して、分解して生成した物質はもとの物質とは異なることを理解します。また、物質は原子や分子からできていて、化学変化における物質の変化やその量的な関係を、化学反応式を用いて表現し、酸化や還元など身近な化学変化を科学的に探究しようとする態度を養います。さらに化学変化に伴う温度変化を測定し、化学変化には熱の出入りがあることを理解します。
2 学期	単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第1章 生物と細胞 第2章 植物のからだのつくりとはたらき 第3章 動物のからだのつくりとはたらき 第4章 刺激と反応 単元3 天気とその変化 第1章 気象の観測 第2章 雲のでき方と前線 第3章 大気の動きと日本の天気	生物のからだは細胞からできていることを、観察を通して理解します。また、植物のからだのつくりについて学習し、植物が行う、光合成、呼吸、蒸散、吸水のしくみについて理解します。さらに動物の消化、吸収、排出のしくみを学習し、呼吸や血液のはたらきについて理解します。 身近な場所で気象観測を継続的に行い、気象要素と天気の変化の関係を学びます。また、天気の変化が主として大気中の水の状態変化と大気の動きによって引き起こされることを理解します。さらに日本の天気の特徴をとらえ、気象現象の起こるしくみと規則性について理解します。
3 学期	単元4 電気の世界 第1章 静電気と電流 第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界	静電気や放電の実験を通して、静電気の性質を学び、電流は電子の流れであることを理解します。また、電流と電圧の測定から、オームの法則を理解します。さらにコイルと磁石を用いた実験から電磁誘導について理解します。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	理科			学年	第3学年
時間数	140	教科書	新編 新しい科学 3（東京書籍）		
副教材	理科の完全学習3年（正進社） 確認から発展へ 理科3年（領域別シート付）（学宝社）				

学習目標	化学変化とイオン、生命の連続性、運動とエネルギー、地球と宇宙、地球と私たちの未来のために、自然と人間に関する事物・事象について学習します。日常生活と関連付けることで、これらの事物・事象への興味・関心を高め、観察・実験を通して科学的な見方や考え方を身に付けます。
学習の方法	教科書を中心に、授業を進めていきます。 実験・観察を通して、実験・観察の技能、結果のまとめかたなども学びます。 定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるか確認します。 長期休業等で出される課題や課題の確認テストで、学習内容の復習を繰り返し行います。
評価の仕方	観点別評価基準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、単元別テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材（理科の完全学習）、課題、発表

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	単元1 化学変化とイオン	化学変化についての観察、実験を通して、水溶液の電気伝導性や中和反応について理解するとともに、これらの事物・現象をイオンのモデルと関連付けて見る見方や考え方を学びます。
	第1章 水溶液とイオン	
	第2章 酸、アルカリとイオン	
	第3章 化学変化と電池	身近な生物についての観察・実験を通して、生物の成長と増え方、遺伝現象について理解し、生命の連続性についての認識を深めます。生物の成長や生殖を細胞レベルでとらえるとともに、細胞分裂の様子や、植物、動物の生殖、親から子に形質が伝わる仕組みについて学習します。
	単元2 生命の連続性	
	第1章 生物の成長と生殖	
2 学期	第2章 遺伝の規則性と遺伝子	力や物体の運動についての観察・実験を行い、力の基本的な性質を理解して運動の規則性を学びます。力学的エネルギーに関わる実験を行い、仕事の概念からエネルギーの移り変わりや保存について理解します。
	第3章 生物の多様性と進化	
	単元3 運動とエネルギー	
	第1章 物体の運動	身近な天体の観察を通して、地球の運動について考察するとともに、太陽や惑星の特徴および月の運動と見え方を理解し、太陽系や恒星など宇宙についての認識を深めます。
	第2章 力のはたらき方	
	第3章 エネルギーと仕事	
3 学期	単元4 地球と宇宙	エネルギー資源利用の現状や新しい技術について学習します。科学技術の進歩により日常生活が豊かで便利になったことと、その反面について学びます。
	第1章 地球の運動と天体の動き	
	第2章 月と金星の見え方	
	第3章 宇宙の広がり	自然界では、植物、動物および微生物が関わり合いながら生息していること、人間の活動なども含め様々な要因が自然界のつり合いに影響していること、自然環境を保全することの重要性を学びます。
	単元5 地球と私たちの未来のために	
	第1章 自然のなかの生物	
	第2章 自然環境の調査と保全	
	第3章 科学技術と人間	
	終章 持続可能な社会のために	

備考	
----	--

令和6年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	保健体育		学年	第 1 学年
時間数	105	教科書	新・中学保健体育（株式会社Gakken）	
副教材	新・中学保健体育の学習 1（株式会社Gakken）			

学習目標	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにします。 運動を適切に行うことにより、体力を高め、心身の調和的発達を図ることができるようにします。 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を持ち、健康・安全に留意し自己の最善を尽くして運動することができるようにします。
学習の方法	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、実技テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、記録、観戦記録（自己評価等）、取組の観察 【主体的に学習に取り組む態度】出席、授業態度、取組の観察

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期	体づくり運動 集団走、隊形、体操 各種の体力を高める運動 水泳 ＜自由形＞ ストローク、キック、ターン、記録会 器械運動 ＜マット運動＞ 前転、後転、倒立 保健分野 健康な生活と病気の予防① 1 健康の成り立ち 2 運動と健康 3 食生活と健康 4 休養・睡眠と健康 5 調和のとれた生活 体育理論 1 スポーツの始まりと発展
2 学期	ダンス 体づくり運動 現代的なリズムのダンス 各種の体力を高める運動 球技（ゴール型） （ネット型） ＜サッカー＞ ボール操作（ドリブル、パス、シュート） ＜バレーボール＞ 基本技能（パス、レシーブ、サーブ） 武道 ＜柔道＞ 礼法、基本動作、受け身、固め技 ＜なぎなた＞ 礼法、基本動作、応用技 保健分野 心身の発達と心の健康 1 体の発育・発達 2 呼吸器・循環器の発達 3 生殖機能の成熟 4 性はどう向き合うか 体育理論 2 スポーツへの多様な関わり方 陸上競技 ＜長距離走＞ 自己に適したピッチとスライド、呼吸法、記録会
3 学期	陸上競技 ＜長距離走＞ 記録会 球技（ベースボール型） （ゴール型） ＜ソフトボール＞ キャッチボール、トスバッティング ＜バスケットボール＞ ボール操作（ドリブル、パス、シュート） 保健分野 心身の発達と心の健康 5 心の発達（1） 6 心の発達（2） 7 自己形成 8 欲求不満やストレスへの対処 体育理論 3 スポーツの多様な楽しみ方

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	保健体育		学年	第2学年
時間数	105	教科書	中学校保健体育（学研教育みらい）	
副教材	中学保健体育の学習 2（学研教育みらい）			

学習目標	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにします。 運動を適切に行うことにより、体力を高め、心身の調和的発達を図ることができるようにします。 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を持ち、健康・安全に留意し自己の最善を尽くして運動することができるようにします。
学習の方法	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、実技テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、記録、観戦記録（自己評価等）、取組の観察 【主体的に学習に取り組む態度】出席、授業態度、取組の観察

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期	体づくり運動 水泳 器械運動 保健分野 健康な生活と病気の予防② 体育理論 集団走、隊形、体操 各種の体力を高める運動 新体力テスト ＜平泳ぎ＞ ストローク、キック、コンビネーションスイム、記録会 ＜マット運動＞ 開脚前転、開脚後転、倒立前転 1 生活習慣病とその予防 2 がんとその予防 3 喫煙と健康 4 飲酒と健康 1 スポーツが心身と社会性に及ぼす効果
2 学期	ダンス 体づくり運動 球技（ベースボール型） （ネット型） 武道 保健分野 健康な生活と病気の予防② 傷害の防止 体育理論 陸上競技 創作ダンス・ソーラン節 各種の体力を高める運動 ＜ソフトボール＞ キャッチボール、トスバッティング、簡易ゲーム ＜ソフトテニス＞ ストローク、ロビング、サーブ、簡易ゲーム ＜柔道＞ 礼法、基本動作、受け身、投げ技、約束稽古 ＜なぎなた＞ 礼法、基本動作、応用技 5 薬物乱用と健康 6 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ 1 傷害の原因と防止 2 交通事故の現状と原因 2 スポーツの学び方 ＜長距離走＞ 自己に適したピッチとストライド、呼吸法、記録会
3 学期	陸上競技 球技（ゴール型） （ネット型） 保健分野 傷害の防止 体育理論 ＜長距離走＞ 記録会 ＜サッカー＞ ボール操作（ドリブル、パス、シュート）、簡易ゲーム ＜バレーボール＞ 基本技能（パス、レシーブ、サーブ）、簡易ゲーム 3 交通事故の防止 4 犯罪被害の防止 5 自然災害に備えて 6 応急手当の意義と基本 3 スポーツの安全な行い方

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	保健体育		学年	第3学年
時間数	105	教科書	中学校保健体育（学研教育みらい）	
副教材	中学保健体育の学習 3（学研教育みらい）			

学習目標	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにします。 運動を適切に行うことにより、体力を高め、心身の調和的発達を図ることができるようにします。 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を持ち、健康・安全に留意し自己の最善を尽くして運動することができるようにします。
学習の方法	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、実技テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、記録、観戦記録（自己評価等）、取組の観察 【主体的に学習に取り組む態度】出席、授業態度、取組の観察

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期	体づくり運動 球技（ネット型） （ベースボール型） 水泳 保健分野 健康な生活と病気の予防③ 体育理論 主な学習内容 集団走、隊形、体操 各種の体力を高めるための運動 新体力テスト <テニス> ストローク、サーブ、ボレー、連携プレー <ソフトボール> 状況に応じた打撃、連携した守備 <背泳ぎ> ストローク、キック、コンビネーションスイム、記録会
2 学期	ダンス 体づくり運動 球技（ゴール型） 保健分野 健康と環境 体育理論 陸上競技 主な学習内容 創作ダンス・ソーラン節 各種の体力を高める運動 <サッカー> 空間に走り込む動き、コンビネーション、ゲーム <バスケットボール> ポストプレー、ゴール下の攻防、ゲーム
3 学期	陸上競技 球技（ベースボール型） （ネット型） 保健分野 健康と環境 体育理論 主な学習内容 1 感染症とその予防 2 性感染症とその予防／エイズ 3 健康を守る社会の取組 4 医療機関の利用と医薬品の使用 1 スポーツの文化的意義 1 環境の変化と適応能力 2 活動に適した環境 3 室内の空気の条件 4 水の役割と飲料水の確保 2 国際的なスポーツ大会とその役割 <長距離走> 自己に適したピッチとストライド、呼吸法、記録会 <長距離走> 記録会 <ソフトボール> 状況に応じた打撃、連携した守備 <バレーボール> レシーブ、サーブ、スパイク、連携プレー、ゲーム 5 生活排水の処理 6 ごみの処理 7 環境の汚染と保全 3 人々を結び付けるスポーツ

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	音楽			学年	第1学年
時間数	45	教科書	中学生の音楽1（教育芸術社）・中学器楽 音楽のおくりもの（教育出版）		
副教材					

学習目標	楽典やソルフェージュなどの基本的な知識を深めるとともに、表現力を高めます。 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞していきます。 友達と一緒に活動する中で響き合うことを楽しんだり、ともに創り上げる喜びを感じたりすることで、温かい人間関係を作り、豊かな学校生活の一助とします。
学習の方法	教科書、プリントを活用して授業を進めていきます。 表現活動（歌唱・器楽・創作）では、主体的に練習に取り組み、積極的に発表をします。 鑑賞活動では、楽曲の持つイメージを考え、楽譜を読み取り、様々な表現を学びます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ファイル、練習状況、発表 【思考・判断・表現】定期考査、ファイル、練習状況、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ファイル、活動記録、授業態度

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	1 表現するために必要なこと ・校歌 2 音楽の要素をとらえながら ・君をのせて ・主人は冷たい土の中に ・浜辺の歌 ・春	姿勢や楽器の構え方など歌唱やリコーダーの演奏の基本を学習します。 読譜に必要な基礎的な楽典について学習します。 旋律やリズムを知覚し、楽曲の特質や雰囲気を感じ取る力を養います。 ソネットやリトルネッロ形式について学習し、音楽全体の構成を理解し鑑賞します。
2 学期	3 歌い合わせ・聴き深める喜び ・校内合唱コンクール歌唱曲 ・赤とんぼ ・魔王 ・箏曲「六段の調べ」	速度や強弱の設定を確かめ、全体の響きを感じ取りながら表現豊かな合唱を目指します。 物語の進行や情景と曲想の変化との関わりを味わいながら鑑賞します。 音楽全体の構成を感じ取り、和楽器による表現を味わいながら鑑賞します。
3 学期	4 さまざまな音楽文化 ー日本とアジア ・涙そうそう ・雅楽「平調 越天楽」 ・リコーダー	拍の表れ方を確かめ歌い合わせ方を工夫し、声の出し方や伸ばし方の特徴を感じ取って歌います。 1000年以上前から表現された雅楽について、その特徴や文化・歴史について学習します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	音楽			学年	第2学年
時間数	35	教科書	中学生の音楽 2・3 上（教育芸術社）・中学器楽 音楽のおくりもの（教育出版）		
副教材					

学習目標	楽典やソルフェージュなどの基本的な知識を深め、表現の技能を伸ばします。 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞していきます。 友達と一緒に活動する中で響き合うことを楽しんだり、ともに創り上げる喜びを感じたりすることで、協力する心や認め合う気持ちを育てます。
学習方法	教科書、プリントを活用して授業を進めていきます。 表現活動（歌唱・器楽・創作）では、自分の思いを演奏や作品に込められるように、音楽を形作っている要素を捉えながら、曲にふさわしい表現を工夫します。 鑑賞活動では、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って、楽曲の背景にある文化・歴史を理解し、曲のよさをじっくり味わいます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ファイル、練習状況、発表 【思考・判断・表現】定期考査、ファイル、練習状況、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ファイル、活動記録、授業態度

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	1 音楽の要素をとらえながら ・やさしさに包まれたなら ・夏の思い出 ・オーケストラの楽器 ・交響曲第5番ハ短調	歌詞の内容を味わい、言葉とリズムの関係や強弱を意識した歌唱表現技能を身に付けます。 世界で最も豪華な音を奏でるオーケストラに使われる楽器について学びます。 動機のリズムや音楽の構成の仕方、楽曲の形式などを理解し、オーケストラの豊かな表現を鑑賞します。
2学期	2 歌い合わせ・聴き深める喜び ・校内合唱コンクール歌唱曲 ・フーガ ト短調 ・アイーダ	声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫します。旋律の重なり方や和音の響きを味わいながら、表現豊かな合唱を目指します。 パイプオルガンの機能や仕組みを理解し、多彩な音色や旋律の重なり方などの特徴を感じ取るとともに、フーガの音楽構成や歴史的背景などを学習します。 音楽と他の芸術の関わりを理解し、総合芸術と呼ばれるオペラの特徴について理解を深めながら鑑賞します。
3学期	3 様々な音楽文化ー日本と世界 ・少年の日の集いの合唱曲 ・サンタルチア ・歌舞伎「勧進帳」	少年の日の集い・卒業式に向けて、式典にふさわしい歌唱方法について学習します。 カンツォーネについて学習し、イタリア語で歌唱します。オペラの誕生背景についても学習します。 音楽・舞踊・演劇が一体となって表現される歌舞伎について、その特徴や文化・歴史について学習します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	音楽			学年	第3学年
時間数	35	教科書	中学音楽2・3下（教育芸術社）・中学器楽 音楽のおくりもの（教育出版）		
副教材					

学習目標	楽典やソルフェージュなどの音楽知識を深め、創意工夫して表現する能力を高めます。 幅広く主体的に鑑賞して音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を身に付けます。 音楽活動を通して、仲間を信じる気持ち、仲間を支える強さ、仲間を愛する心を大切に して、豊かな人間性を育めるようにします。
学習方法	教科書、プリントを活用して授業を進めていきます。 表現活動（歌唱・器楽・創作）では、自分の思いを演奏や作品で伝えられるように、音 の楽を形作っている要素を捉えながら、曲にふさわしい表現を工夫します。 鑑賞活動では、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取り、楽曲の よさをじっくり味わい、伝えます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ファイル、練習状況、発表 【思考・判断・表現】定期考査、ファイル、練習状況、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ファイル、活動記録、授業態度

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	1 音楽の要素をとらえながら ・花 ・花の街 ・ブルタバ	歌詞が表す情景を想像しながら、歌詞のまとまりと旋律や形式との関係、強弱や速度の設定、声部の役割などを生かした表現方法について学習します。 物語の進行や情景と曲想の変化との関わりを味わいながら鑑賞します。
2 学期	2 歌い合わせ・聴き深める喜び ・校内合唱コンクール歌唱曲 ・早春賦 ・ボレロ	旋律の重なり方や和音の響きを味わいながら、表現豊かな合唱を目指します。 詩にこめられた思いが旋律や強弱にどのように生かされているか感じ取り、ふさわしい表現を工夫します。 主題の繰り返しや音楽の構成の仕方を理解し、オーケストラの豊かな表現を味わいながら鑑賞します。
3 学期	3 様々な音楽文化ー日本と世界 ・修了式の合唱曲 ・能「敦盛」 ・私たちのくらしと音楽	修了式・卒業式に向けて、式典にふさわしい歌唱方法について学習します。 室町時代に大成された日本の伝統的な芸術である能について、その特徴や文化・歴史について学習します。 音楽著作権について学習します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	美術			学年	第1学年
時間数	45	教科書	美術1 出会いと広がり（日本文教出版）		
副教材	標準美術Ⅰ（愛媛県教育会）・美術科テスト1年（鑑賞シート）（愛媛県教育会）				

学習目標	絵を描くことやものをつくること、作品を味わうことなどを通して、喜びや表現をする楽しさを持ち、美を求め続ける力や美術を愛好する心情を身に付けていきます。対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、その特徴や美しさを発見し、意図に応じて創意工夫する力を育てながら基礎基本を身に付けていきます。また、美術作品などについての基礎的な知識や理解、見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、鑑賞の能力を高めていきます。
学習の方法	教科書、副教材、プリントを活用して学習を進めていきます。 実践的な学習活動を通し、表現の基礎基本を学びながら、美術に対する知識、技術を学んでいきます。また、鑑賞の時間を活用し様々な表現のよさ、考え方の違いについて学び美術作品に対する視野を広げていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 期末考查、作品、提出物 【思考・判断・表現】 期末考查、作品、提出物 【主体的に学習に取り組む姿勢】 作品、提出物、平常の活動姿勢

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	1 鉛筆の表現	自分の名前を形や色彩に置き換えて表現します。
	2 水彩絵の具の使い方	様々な描画材料に触れ、自らのイメージに応じた材料を用いて、「見る」誰かのために「分かりやすさ」を考えて表現します。 水彩絵の具の基本的な使用法と、色の持つ可能性について学び、自分が描きたいイメージに応じて、色彩や筆跡などを考えます。
	3 美しい文字	自分の気持ちや伝えたい内容が相手に伝わるように、美しく、読みやすい目的に合った文字の形（書体）を学び、ポスター制作に生かします。
2学期	4 立体で表す	自然物や身近な物の美しさや存在感を感じながら、粘土を使って、形や色、質感など、自分が感じた特徴の表し方を追求します。 対象を見つめ、感じ取った形の特徴やおもしろさ、美しさを考えます。
	5 パラパラ漫画	紙をめくると動きが感じられるように絵を少しずつ変化させるアニメーション表現に挑戦します。
3学期	6 モダンテクニック	活動を通して、思いもよらない色や形が生まれる様々なモダンテクニックの表現の面白さを味わい、表現の幅を広げます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	美術			学年	第2学年
時間数	35	教科書	美術2・3上 学びの深まり・美術2・3下 美の探求（日本文教出版）		
副教材	標準美術Ⅱ（愛媛県教育会）・美術科テスト2年（鑑賞シート）（愛媛県教育会）				

学習目標	1年次の学習を踏まえ、主体的に美術の活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を深めていきます。自らの考えを明確にし、対象を深く見つめ、感じ取る力や想像力を高め、自分の表現方法を追求していきます。 また、様々な美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、よさや美しさを味わう鑑賞の能力を高めていきます。
学習の方法	教科書、副教材、プリントを活用して学習を進めていきます。 実践的な学習を通し、対象を深く見つめ感じ取る力を一層高め、美術に対する知識、技能を深めていきます。また、鑑賞の時間を活用して様々な表現のよさ、作者の意図を考え美術作品についての理解や見方を広げていきます。さらに、1年次で取り上げた内容も振り返り、美術に対する知識、技能を確立していきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 期末考査、作品、提出物 【思考・判断・表現】 期末考査、作品、提出物 【主体的に学習に取り組む姿勢】 作品、提出物、平常の活動姿勢

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	1 四コマ漫画	ふきだしや効果線などのマンガ独特の表現方法を理解します。主題を生成し、その良さや面白さを生かして4コマ漫画の形式で表現します。
2学期	3 生き物彫刻 4 生活の中のデザイン	彫刻の表現技法、制作手順を理解し、見通しを持って表現できるように学んでいきます。粘土による技法や表現を学び、モデリングを行います。制作した立体に着色を行い、作品を完成させ、鑑賞します。 身近なデザインを観察し、使いやすさ・よさの秘密を探っていきます。形・素材・大きさなどの要素を踏まえ、私たちの生活をより豊かにする文房具を考えます。主題を基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調などを考え、自分らしい表現を模索していきます
3学期	5 映像表現に挑戦	個人端末を用いて、テーマに合わせて写真を撮影したり、写真を加工したりします。また、アングルや構図など表現方法を創意工夫し、魅力的な写真を追究します。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	美術			学年	第3学年
時間数	35	教科書	美術2・3上 学びの深まり・美術2・3下 美の探求（日本文教出版）		
副教材	標準美術Ⅱ（愛媛県教育会）・美術科テスト3年（鑑賞シート）（愛媛県教育会）				

学習目標	1・2年次の学習を踏まえ、主体的に美術の活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を深めていきます。自らの考えを明確にし、対象を深く見つめ、感じ取る力や想像力を一層高めて独創的な見方や考え方を培い、自らの表現方法を迫及する能力を高めます。また、様々な美術作品や文化遺産等についての理解や見方を深め、よさや美しさを味わう鑑賞の能力を高めていきます。
学習の方法	教科書、副教材、プリントを活用して学習を進めていきます。 実践的な学習を通し自己の表現方法を高めるため様々な実践的な表現方法を身に付けます。美術に対する知識、技術を深めるため作品鑑賞で理解を深めます。 また、鑑賞の時間を活用して様々な表現のよさや作者の意図を考え、美術作品についての理解や見方をより一層広げていきます。さらに、1・2年次で取り上げた内容を振り返り、美術に対する知識、技能をより確立していきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 期末考查、作品、提出物 【思考・判断・表現】 期末考查、作品、提出物 【主体的に学習に取り組む姿勢】 作品、提出物、平常の活動姿勢

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	1 遠近法	透視図法や空気遠近法など様々な遠近法を理解し、表現できるようにします。また、目の錯覚を利用した表現についても学びます。
	2 水墨画	にじみやぼかしなど色紙や毛筆ならではの表現を追究して作品を制作します。
2学期	3 篆刻	テーマに合った図案を考え、石を掘ってハンコを作ります。材料や用具を適切に用いて、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って、安全に制作します。
	4 リピートパターン	同じ図案が繰り返されることで生まれる規則的な模様を作ります。制作を通して古今東西の文化や生活への理解を深めます。
3学期	5 コマ撮りアニメを撮影しよう	ウェブアプリを用いて10秒ほどのコマ撮りアニメを撮影します。コマ撮りならではの表現を模索します。また、映像表現の歴史について学びます。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	外国語			学年	第 1 学年
時間数	140	教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1（開隆堂）		
副教材	JOYFUL WORKBOOK 1（新学社）				

学習目標	聞くこと、話すこと（発表）、話すこと（やりとり）、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養います。 外国語を通じて、言語文化に対する理解を深めます。 英語を媒介として、日本とは異なる言語・文化・社会に対する理解や共感を深めます。
学習の仕方	授業では、少人数講座の特性を生かし、対話活動や音読活動を行い、基礎となる英単語や基礎文の理解、習得をしていきます。 文法の学習に偏らず、より実用的な英語を習得することが大切です。年4回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、ワークブックを活用して繰り返し練習することで基礎力の定着を図ります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、単元別テスト、ノート、提出物 【思考・判断・表現】定期考査、発表、ノート、提出物 【主体的に学習に取り組む姿勢】授業中の活動状況、授業態度、挙手・発表回数等提出物

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	Get Ready PROGRAM 1 PROGRAM 2 PROGRAM 3 Our Project 1 PROGRAM 4	アルファベットを始め、基本単語、基本文型など、基本事項を学習します。 一般動詞を用いた英文、疑問文、be 動詞を用いた英文、疑問文を中心に学習します。 Can を用いた英文や疑問文、疑問詞 when、whose を用いた英文を学習します。 既習事項を用いてスピーチを作成し、発表します。 This[That] is を用いた英文、who を用いた質問の仕方や答え方を学習します。
2学期	PROGRAM 5 PROGRAM 6 PROGRAM 7 Our Project 2 PROGRAM 8	三人称を主語とした be 動詞や一般動詞を用いた英文とその疑問文を学習します。 疑問詞 why を用いた質問の仕方や答え方を学習します。 There is[are]を用いた英文、疑問詞 how を用いた英文を学習します。 既習事項を用いてスピーチを作成し、発表します。 現在進行形の表現方法やその疑問文を用いた英文を学習します。
3学期	PROGRAM 9 PROGRAM 10 Our Project 3	過去形を用いた英文やその疑問文を学習します。 物語を英文で読みます。 既習事項を用いてスピーチを作成し、発表します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	外国語			学年	第 2 学年
時間数	105	教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE 2（開隆堂）		
副教材	JOYFUL WORKBOOK 2（新学社）				

学習目標	聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養います。 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めます。 英語を媒介として、日本とは異なる言語・文化・社会に対する理解や共感を深めます。
学習の仕方	授業では、単語のドリルや対話活動、音読を中心に基礎となる単語基本文の理解、習得をしていきます。 文法の学習に偏らず、よりオーセンティックな英語を習得することが大切です。年5回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、ワークブックを活用して繰り返し練習することで基礎力の定着を図ります。
評価の仕方	観点別評価基準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、ワーク 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート、ワーク 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、ワーク、授業中の発言、挙手・発表回数

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	PROGRAM 1 New Start PROGRAM 2 Koshien Project in Africa PROGRAM 3 Taste of Culture	未来表現 (be going to～、will) を用いた表現を学習します。 think that ～、接続詞 when、if を用いた表現を学習します。 不定詞を用いた表現を学習します。
2学期	PROGRAM 4 Leave Only Footprints PROGRAM 5 Work Experience PROGRAM 6 High-Teck Nature	感情などを表す不定詞や助動詞 must、have to ～を用いた表現を学習します。 how to～、look (get、become)+形容詞、give+人+物を用いた表現を学習します。 比較級、最上級、原級を用いた表現を学習します。
3学期	PROGRAM 7 Unique Animals PROGRAM 8 A Hope for Lasting Peace	Like を使う比較、teach+人+how to ～を用いた表現を学習します。 受け身を用いた表現を学習します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	外国語			学年	第3学年
時間数	105	教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE 3（開隆堂）		
副教材	JOYFUL WORKBOOK 3（新学社）				

学習目標	聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養います。 日本とは異なる言語・文化・社会に対する理解や共感を深めます。
学習の方法	授業では、アクティブラーニングを通して基礎単語と基本文の理解及び習得を目指します。 ワークブックを活用して、繰り返し練習することで基礎力の定着を図ります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、週末課題等の提出物

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	Program 1 Steps 1 Program 2 Power-Up 1 Program 3 Steps 2 Our Project	日本の伝統文化を紹介する会話文を読み、人にもものを頼む表現や自分の感情とその原因を表す表現などを学習します。 ディベートの仕方を学び、意見を主張する練習をします。 睡眠の大切さについての会話文を読み、〈主語＋動詞＋疑問詞節〉などについて学習します。 路線図を見ながら、道案内の表現を学習します。 バスケットボールについての会話文を読み、SVOCの文型や原形不定詞について学びます。 メモのとり方について学習します。 自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いて記者会見をしたり、記者会見を聞いて感じたことを伝え合ったりする練習をします。
2学期	Reading 1 Power-Up 2 Program 4 Power-Up 3 Steps 3 Program 5 Steps 4 Program 6	物語を読んで、概要や登場人物たちの心情を捉えたり、自分の考えについて書いたりする練習をします。 買った物の状態やそれをどうしたいかなどを伝え合う練習をします。 ASL（アメリカ手話）についての文章を読み、現在分詞・過去分詞の後置修飾について学習します。 ホームページを英語で作成する練習をします。 チョコレートの歴史やフェアトレードなどについての文章を読み、関係代名詞（主格）について学習します。 プラスチックごみについての文章を読み、関係代名詞（目的格）について学習します。
3学期	Program 7 Reading 2 Further Reading 1、2	AI技術についての文章を読み、仮定法過去について学習します。 マララさんについての物語を読み、概要や要点を捉え、自分の意見を述べる練習をします。 物語を読んで、概要や要点を捉える練習をします。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭科（技術分野）			学年	第1学年
時間数	35	教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）		
副教材	技術・家庭ノート 技術分野（正進社）				

学習目標	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てます。
学習の方法	1 生活をよりよくするための知識を学習するために、技術と社会や環境との関わり、家庭の機能について理解を深めます。 2 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するために、実践的・体験的な学習活動を行います。 ア 道具や工具、機器を正しく扱い、適切に保守・管理ができるようにします。 イ 安全に製作活動ができるように留意します。 3 互いに協力し合うことの大切さを学ぶために、班活動や男女の協同作業を行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実習作品 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート、実習中の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、授業中の発言、挙手・発表回数表

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	A 材料と加工に関する技術	○ 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えます。 ○ 材料の特徴やその利用方法を知ります。 ○ 使用目的や使用条件に即した機能と構造について考え、簡単な製作図を描くことができるようにします。
2 学期	A 材料と加工に関する技術	○ 材料に適した加工法を知り、工具や機械を安全に使用できるようにします。 ○ 部品加工、組立て、仕上げを行います。
3 学期	D 情報に関する技術	○ 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知ります。 ○ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭科（技術分野）			学年	第2学年
時間数	35	教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）		
副教材	技術・家庭ノート 技術分野（正進社）				

学習目標	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てます。
学習の方法	1 生活をよりよくするための知識を学習するために、技術と社会や環境との関わり、家庭の機能について理解を深めます。 2 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するために、実践的・体験的な学習活動を行います。 ア 道具や工具、機器を正しく扱い、適切に保守・管理ができるようにします。 イ 安全に製作活動ができるように留意します。 3 互いに協力し合うことの大切さを学ぶために、班活動や男女の協同作業を行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実習作品 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート、実習中の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、授業中の発言、挙手・発表回数表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	C 生物育成に関する技術	○ 生物育成に適する条件と育成環境を管理する方法を知ります。 ○ 生物育成に関する新しい技術について知ります。 ○ 栽培記録を取り、植物の管理を適切に行います。
2 学期	B エネルギー変換に関する技術	○ 各種エネルギーの変換の仕組みや安全な利用方法について知ります。 ○ 電気機器の基本的な仕組みを知り、保守点検や事故防止ができるようにします。 ○ エネルギーの効率的な伝達方法について知ります。
3 学期	B エネルギー変換に関する技術	○ 製作品の組立て・調整や電気回路の配線・点検ができるようにします。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭科（技術分野）			学年	第3学年
時間数	18	教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）		
副教材	技術・家庭ノート 技術分野（正進社）				

学習目標	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てます。
学習の方法	- 生活をよりよくするための知識を学習するために、技術と社会や環境との関わり、家庭の機能について理解を深めます。 - 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するために、実践的・体験的な学習活動を行います。 - 道具や工具、機器を正しく扱い、適切に保守・管理ができるようにします。 - 安全に製作活動ができるように留意します。 - 互いに協力し合うことの大切さを学ぶために、班活動や男女の協同作業を行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実習作品 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート、実習中の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、授業中の発言、挙手・発表回数表

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	D 情報に関する技術	○ コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知ります。 ○ 情報処理の手順やプログラムの働きを学習します。 ○ 情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できるようにします。
2学期	D 情報に関する技術	○ 情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できるようにします。 ○ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えます。 ○ 多様なソフトウェアやメディアを用いて、身近な課題を解決できるようにします。
3学期	D 情報に関する技術	○ 多様なソフトウェアやメディアを用いて、身近な課題を解決できるようにします。 ○ 技術が私たちの生活で果たしている役割や環境を守る工夫について理解できるようにします。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭（家庭分野）			学年	第1学年
時間数	35	教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）		
副教材	技術・家庭ノート 家庭分野（正進社）				

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指します。
学習の方法	生活をよりよくするための知識を習得し、家庭の機能について理解を深めます。 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するために、実践的・体験的な学習活動を行います。家庭での実践により知識と技術の定着を図ります。 互いに協力し合うことの大切さを学習するために、班活動や作業を行います。 生活をよりよくしようと課題を持って取り組む態度を身に付けます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実習記録表 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、グループでの話し合い、実習の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	A 家族・家庭生活 1 今の自分とこれから 2 家庭のはたらきと家庭の仕事 3 様々な家族・家庭 6 かかわり合う地域と家庭 7 持続可能な家庭生活	自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて学習します。家庭や家族の機能と地域との関わりについて学びます。 家庭生活は、地域との相互の関わりで成り立っていることを学びます。
2 学期	B 食生活 1 人間にとっての食事 2 食品と栄養素 3 中学生に必要な食事 4 日常食の調理と地域の食文化	栄養素の種類と働きを学び、中学生の1日に必要な食品の種類と概量について学習します。 生鮮食品や加工食品の特徴を理解し、選択・保存ができる力を付けます。 安全・衛生・環境に配慮し、食品や調理器具を適切に扱い基本的な日常食の調理をします。 肉・魚を使った調理計画を立てます。
3 学期	5 献立づくり 6 持続可能な食生活	和食の特徴を知り、地域の食材を使った料理を考えます。 栄養バランスのいい1日の献立を作る方法を学習します。 持続可能な食生活を考えます。

備考	調理実習では実習着を必ず着用しましょう。
----	----------------------

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭（家庭分野）			学年	第2学年
時間数	35	教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）		
副教材	技術・家庭ノート 家庭分野（正進社）				

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指します。
学習の方法	生活をよりよくするための知識を習得し、家庭の機能について理解を深めます。 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するために、実践的・体験的な学習活動を行います。家庭での実践により知識と技術の定着を図ります。 互いに協力し合うことの大切さを学習するために、班活動や作業を行います。 生活をよりよくしようと課題を持って取り組む態度を身に付けます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実習記録表 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、グループでの話し合い、実習の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	B 衣食住の生活 1 目的に応じた衣服の選択 2 日常着の手入れと保管	衣服の社会生活上のはたらきを理解し、自分らしい着方について考えます。自分の衣服計画を立てます。 衣服の状態や材料に応じた手入れの方法について学習します。 衣服の収納・保管について学習します。
2学期	3 生活を豊かにするものの製作（エプロン製作） 4 持続可能な衣生活	好みの色や柄の布を使って、自分に合ったエプロンを製作します。ミシンやアイロンなどの道具を安全に使用する方法を学習します。 資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考えます。
3学期	1 住まいのはたらきとこころよさ 2 安全な住まいで安心な暮らし 3 持続可能な住生活	日本の伝統的な住まいの特徴や空間の使い方について学習します。 地域のさまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要性について考えます。 持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを学習します。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭（家庭分野）			学年	第3学年
時間数	17	教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）		
副教材	技術・家庭ノート 家庭分野（正進社）				

学習目標	衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てます。
学習の方法	生活をよりよくするための知識を習得し、家庭の機能について理解を深めます。 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するために、実践的・体験的な学習活動を行います。家庭での実践により知識と技術の定着を図ります。 互いに協力し合うことの大切さを学習するために、班活動や作業を行います。 生活をよりよくしようと課題を持って取り組む態度を身に付けます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実習記録表 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、グループでの話し合い、実習の行動観察 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	A 家族・家庭生活 2 幼児の生活と家族	幼児の体や心の発達と家族の役割、成長と地域について学習します。幼児の遊びと発達についても学習します。
2学期	3 幼児とのかかわり 遊び道具の製作 C 消費生活・環境 1 家庭生活と消費	遊び道具の製作などの活動を通して幼児の遊びの意義について考えます。幼児への関心を深め、関わり方の工夫ができるような能力を身に付けます。 生活を支えるお金と物が循環する消費生活のしくみについて学習し、計画的に金銭管理をすることが必要であることを意識づけます。
3学期	2 購入・支払いと生活情報 3 消費者被害と消費者の自立 4 持続可能な社会	消費者の基本的な権利と責任、販売方法の特徴等について学習します。また、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる力を身に付けます。 消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活をするように生活の見直しを行います。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	コミュニケーション			学年	第1学年
時間数	35	教科書			
副教材	ベーシック・コミュニケーション I（自作教材）				

学習目標	多様な言語活動を通して、人とコミュニケーションを取るための能力を伸ばさせます。 スピーチやインタビューなどの活動を通して、「話す」「聞く」能力を育成します。体験文を書く活動を通して、「書く」能力を育成します。 また、コミュニケーションを取る相手を思いやる態度を育成します。
学習方法	プリントを活用して授業を進めていきます。 スピーチやインタビューなどの言語活動では、自分の意見を伝えるだけでなく相手の意見を受け止める力が必要です。班ごとに分かれての活動もあるので、周囲と協力しながら活動していきます。 年間3回の定期考査ごとに、配付されたプリントを活用しながら学習内容を確認し、知識をまとめていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト、提出物等 【思考・判断・表現】定期テスト、授業時の活動、提出物等 【主体的に学習に取り組む姿勢】授業時の活動、提出物等

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	1 これからよろしく	スピーチ原稿を作成し、他己紹介のスピーチを行います。スピーチを行うための準備や、話す際に気を付けることについても学習します。クラスメイトのスピーチを聞き、相互評価を行います。
2学期	2 文章の書き方 3 体験文を書こう	話し言葉と書き言葉の違いや、文章の構成について学習します。また、主張と根拠の関係について学び、説得力のある文章を書く力を身に付けます。 スピーチコンテストに向けて、スピーチ原稿を作成します。活動を通して、原稿用紙の正しい使い方について学習します。原稿を作成した後、クラス内で代表者を決定します。
3学期	4 討論ゲームをしよう	討論のテーマを決め、グループに分かれてディベートを行います。グループで作戦を立て、クラスメイトからの評価によって勝敗を決定します。

備考	本校の学校設定教科です。
----	--------------

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	コミュニケーション			学年	第2学年
時間数	35	教科書			
副教材	さくさくWriting 1年 (浜島書店) さくさくWriting 2年 (浜島書店)				

学習目標	様々な言語活動に取り組みながら、英語を用いて聞き、話し、書く能力を高めます。また、ALT とのティームティーチングにより個別指導に努め、より高い学習到達目標に向かって表現能力を高めます。
学習の方法	一つのセクションを3時間で学習します。①文構造の学習とエッセイの構成マッピング及び下書き②清書及びスピーチ発表練習③スピーチ発表という形態で学習します。ALT に下書きの添削や発音を確認してもらいます。 また少年式でのスピーチコンテストに向けて暗唱していきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】各レッスンのスピーチ（原稿・発表） 【効果的に表現する能力】各レッスンのスピーチ（原稿・発表）、定期テスト 【正確に理解する能力】定期テスト、提出物等

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	私の好きな人物を紹介します 登校前、下校後の過ごし方 夏休みの目標	be 動詞と一般動詞の現在形を用いて、自分の好きな人物について書いて発表します。 時を表す表現を用いて、クラスメイトに会わない時間帯の過ごし方について書いて発表します。 未来形、過去形、不定詞を用いて、夏休みの目標を書いて発表します。
2 学期	休日にしたこと 日本の四季の楽しみ方 将来の夢 今、私がほしいもの	一般動詞の過去形を用いて、休日のおもしろかったできごとについて書いて発表します。 一般動詞の過去形、接続詞 that を用いて、季節の過ごし方について書いて発表します。 不定詞、接続詞 if、助動詞を用いて、将来の夢について書いて発表します。 不定詞、接続詞 if、when を用いて、自分のほしいものについて書いて発表します。
3 学期	わが町の紹介 どちらの方がいいですか？ 一度は行ってみたいところ	There is(are)～、接続詞 if、助動詞 can を用いて、お勧めの場所や行事について書いて発表します。 比較級、最上級を用いて、二つのものを比べて、自分の考えを書いて発表します。 不定詞を用いて自分の行きたい場所や国について書いて発表します。
備考	本校の学校設定教科です。	

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	コミュニケーション		学年	第3学年
時間数	35	教科書		
副教材	さくさく Writing 3年 (浜島書店)			

学習目標	スピーチを書いて発表することを通して、英語で表現する能力を高めます。 ALT とのティームティーチングによって、より高い表現能力の習得を目指します。
学習方法	一つのセクションを3時間で学習します。①文構造の学習とスピーチの構成マッピング及び下書き②清書及びスピーチ発表練習③スピーチ発表という形態で学習します。ALT に下書きの添削や発音を確認してもらいます。
評価仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】各レッスン毎のスピーチ（原稿・発表） 【効果的に表現する能力】各レッスン毎のスピーチ（原稿・発表）、定期テスト 【正確に理解する能力】定期テスト、提出物等

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	自己紹介 文化紹介 経験したこと	学校生活で頑張りたいことを発表します。 日本の伝統・文化・食べ物・行事などを紹介します。 印象に残っている思い出について発表します。
2 学期	大切なこと 将来どこに住みたい？ スピーチコンテストに向けて	日常生活や社会生活の中で大切にしたいと考えていることを発表します。 二つの場所を比べて、将来どちらに住んでみたいかを発表します。 スピーチコンテストに向けて自由なテーマでスピーチを作成します。
3 学期	紹介します 「尊敬する人・会いたい人」 中学校3年間の思い出	尊敬する人や会いたい人について、その人の説明を行います。 中学校3年間を振り返り、思い出をクラスメイトと分かち合います。

備考	本校の学校設定教科です。
----	--------------